

2022年3月17日

阪神電気鉄道株式会社



## 阪神甲子園球場で回収したプラスチックカップをリサイクルした 「リサイクルごみ袋」の使用を開始します ～球場発 西宮市内のグループ鉄道各駅・商業施設における循環型リサイクルの構築～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：秦雅夫）が運営する阪神甲子園球場では、環境保全プロジェクト「KOSHIEEN “eco” Challenge」の一環として、オフィシャルエコパートナーである株式会社シモジマ（本社：東京都台東区、社長：笠井義彦）とともに、**阪神甲子園球場で回収したプラスチックカップの再生原料を一部使用した「リサイクルごみ袋」**を、2022年4月1日から同球場で使用開始する予定ですが、この度、西宮市に所在している**阪神電車・阪急電車の各駅や阪急阪神ホールディングスグループ商業施設（※1）**においても順次使用していくこととしましたので、お知らせします。

これは、「リサイクルごみ袋」が、「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言（※2）」において定めた重要テーマの1つである「環境保全の推進」に合致し、加えて、2022年4月から同球場が所在する兵庫県西宮市において開始される指定ごみ袋制度の承認品（西宮市指定事業系ごみ袋）となったためです。

### 使用開始する阪急阪神ホールディングスグループの駅・商業施設（予定）

鉄道駅	
阪神	武庫川駅、鳴尾・武庫川女子大前駅、甲子園駅、久寿川駅 今津駅、西宮駅、香櫨園駅、東鳴尾駅、洲先駅、武庫川団地前駅
阪急	西宮北口駅・門戸厄神駅・甲東園駅・阪神国道駅・今津駅 夙川駅・苦楽園口駅・甲陽園駅
商業施設	
	阪急西宮ガーデンズ、エビスタ西宮

この「リサイクルごみ袋」は、阪神甲子園球場で回収されたプラスチックカップ10%のほか、ペットボトルを20%、ポリエチレンの再生原料を35%配合しており、再生原料65%とリサイクル率が高く、通常のポリ袋に比べCO2排出量を約15%削減できる製品です。

☆「リサイクルごみ袋」の詳細については、  
2021年12月20日当社リリース)もご参照ください。  
<https://www.hanshin.co.jp/company/press/detail/3374>



※1 商業施設の共用部で発生するゴミ回収のために使用します。

※2 阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言

持続可能な社会の実現に向け、当社グループの今後の取組みの方向性を示す

ものとして、2020年5月19日に策定。サステナブル経営の重要テーマとして、

- ① 安全・安心の追求、②豊かなまちづくり、③未来へつながる暮らしの提案、
- ④一人ひとりの活躍、⑤環境保全の推進、⑥ガバナンスの充実を設定。



以 上